

# 齋藤茂樹の 北関東巡り



令和6年(2024)1月21日

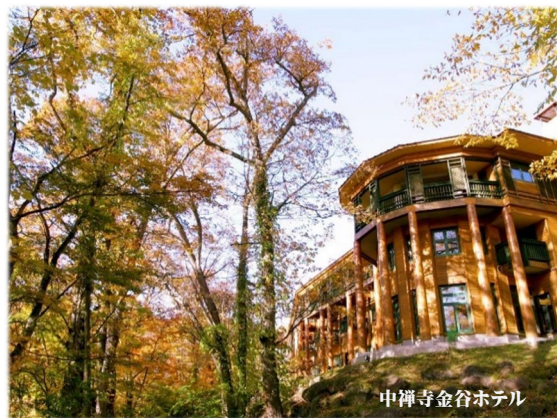
## 37

### 4泊5日の日光満喫旅行

会社の永年勤続35年記念旅行で、母と一緒に12月中旬に4泊5日で日光の中禅寺金谷ホテルに宿泊しながら中禅寺湖周辺と東照宮、二荒山神社、輪王寺を散策しました。

#### ❖ 中禅寺金谷ホテル

日光の金谷ホテルといえば、東照宮の近くの日光金谷ホテルが有名ですが、今回泊まったのは中禅寺湖湖畔の中禅寺金谷ホテルでした。金谷ホテルのパンはとくに有名で、食事はすべてとても美味しく、奥日光湯元から引いている硫黄泉の温泉もとても良かったです。



中禅寺金谷ホテル

#### 【金谷ホテルの歴史】

1937年(昭和12年)頃から政府は鉄道局に国際観光局を設け外貨獲得のため国際観光に力を入れ始めたことを受け、このホテルも1940年(昭和15年)に総工費34万2千円(うち政府資金25万円)で落成(当時洋室17、和室22、集客人数100名)。終戦後占領軍の休養施設として接收され1950年(昭和25年)に火災で全焼、再建後も接收され1952年(昭和27年)の講和条約により接收が解かれました。1966年(昭和41年)には昭和天皇・皇后が宿泊しています。

まだ外国人が珍しい時代から、本格的な西洋料理を手掛けており、日光虹鱈のソテー金谷風、百年カレー、大正コロケット、カスタードプディングなど100年以上受け継がれてきた伝統の味、歴史に裏付けられたオリジナルの味を提供しています。

ホテルのレストランでは、朝食をとりながら野鳥を見ることができました。鳥の名前はわかりませんでしたので、撮った写真を日光自然博物館のかたにお見せし教えていただきました。



中禅寺湖周辺の歴史を訊ねると、以下のかたがたのご尽力があったことがわかりました。

日光開山の祖……<sup>しやうどうしやうにん</sup>勝道上人

男体山頂遺跡発見者……エドワード・モース(大森貝塚発見者)

西洋人で初めて奥日光訪問……ハリー・パークス(当時の駐日英国公使)

奥日光を国際的避暑地に導いたイギリス外交官……アーネスト・サトウ

日光で植物学を発展させたアーネスト・サトウの息子……<sup>ひきよし</sup>武田久吉

奥日光湯元に深く興味を持ったイギリス人の女性旅行家……イザベラ・バード

奥日光のフライフィッシングの発展に貢献したスコットランド人貿易商……トーマス・グラバー

宇都宮一日光間の鉄道開通の設立委員長……渋沢栄一

中でもとくに注目したいのが、アーネスト・サトウです。

大河ドラマ「花神」で下関戦争後の講和会議で高杉晋作を相手にイギリス側通訳を務めたシーンが印象的で、幕末・維新に外交官と活躍し、日光に長く住んだことは知っていましたが、サトウという名はドイツ東部の小さな村「Satow」からきていることがわかりました。

サトウは、18歳の時日本に強い憧れを抱き1862年に横浜のイギリス公使館に着任。来日後、生麦事件、薩英戦争、下関戦争、戊辰戦争を体験。

幕末・維新の政局を握った人々と交流。明治になると日本学者として多くの書籍を出版しました。

1872年に中禅寺湖を訪れ、この地域に惚れ込んで別荘を建て1875年にガイドブックを刊行。その後奥日光が避暑地として栄え多くの外国人が別荘を建てています。

#### ❖ 中禅寺

中禅寺は、勝道上人〔天平7年(735)-弘仁8年(817)〕により、木に刻んだ千手観音像を本尊として開かれました。境内にはこの立木観音像が安置されている千手観音堂のほかに、高台にある楼閣



(はしり大黒天堂)、映画「愛染かつら」のロケ地となった「愛染堂」(愛染明王像が安置されている)、映画「エレキの若大将」のロケ地にちなんで建てられた「君といつまでも」の歌碑などがありました。



はしり大黒天堂



立木観音堂



はしり大黒天堂からの眺め(アーネスト・サトウが愛した景色と同じ方向の景色)

「君といつまでも」の歌碑



中禅寺湖畔から仰ぎ見る男体山

## ❖ 日光二荒山神社 中宮祠

日光二荒山神社は、男体山山頂の奥宮と中禅寺湖湖畔の中宮祠と東照宮の隣の御本社の三ヶ所に鎮座しており、中宮祠は男体山への登山口(11月12日から4月24日までは閉山期間で山への立ち入り禁止)でもあり、宝物館には長さ3.4メートルの大太刀の「衾々切丸」や皇室御物や男体山山頂での発掘品などが展示されています。

今回特別展にて国宝の太刀「備前長船倫光」と「来国俊」を観覧することができました。刀剣に詳しくはありませんが「来国俊」は美しいと感じました。



ほかにも有名な華厳の滝、日光自然博物館、竜頭の滝、湯ノ湖、日光湯元ビジターセンターなどを見学し大いに楽しみました。



## 〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

<a href="#">#1</a> 鎌倉殿の13人	<a href="#">#16</a> シアトルの花見	<a href="#">#31</a> 陶器・像形展から銀座・日本橋界隈を散策
<a href="#">#2</a> 紅葉の群馬県	<a href="#">#17</a> 宇都宮市民合唱祭	<a href="#">#32</a> 宇都宮芳賀ライトレール線開業
<a href="#">#3</a> 栃木、埼玉の名所	<a href="#">#18</a> 桜の名所 愛知・兵庫	<a href="#">#33</a> 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮
<a href="#">#4</a> 栃木、群馬県庁	<a href="#">#19</a> 群馬の桜と上毛かるた	<a href="#">#34</a> コーア・リト 第5回演奏会
<a href="#">#5</a> 全国御守り特集	<a href="#">#20</a> 交通の要所・館林	<a href="#">#35</a> 江戸城周辺散策
<a href="#">#6</a> 世良田東照宮・家康	<a href="#">#21</a> 第50回宇都宮市民合唱祭	<a href="#">#36</a> 古巣の合唱団ノース・エコーとボーイング
<a href="#">#7</a> 栃木・益子の陶器	<a href="#">#22</a> 骨波田の藤と塙 保己一	
<a href="#">#8</a> 奥の細道むすびの地	<a href="#">#23</a> 大室古墳群、鼻高展望花の丘	
<a href="#">#9</a> 古鎌倉街道	<a href="#">#24</a> 桜とあじさい、紅葉の太平山	
<a href="#">#10</a> 新田義貞・上毛かるた	<a href="#">#25</a> ドン合唱団 歌い続けて65年	
<a href="#">#11</a> 慈覚大師 円仁	<a href="#">#26</a> 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	
<a href="#">#12</a> バレンタインチョコ	<a href="#">#27</a> 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	
<a href="#">#13</a> 梅の名所 愛知・京都	<a href="#">#28</a> お盆飾りを調べてみた	
<a href="#">#14</a> 梅の名所 栃木・群馬	<a href="#">#29</a> KTC混声合唱団を聴く	
<a href="#">#15</a> 早咲きの河津桜	<a href="#">#30</a> 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	


[Back](#)

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

[Home](#)

「ホームページ」表紙へ戻る